

(様式1)

令和7年5月16日

富山県教育委員会教育長 殿

富山県立魚津高等学校
校長 金田 幸徳

令和7年度学校経営計画を別紙(様式2・3)とともに提出します。

令和7年度 学校経営計画

1 学校教育目標

校訓「明るい協力、撓まぬ勉強」のもと、「高い知性」「豊かな情操」「強い身体」を教育目標として掲げ、その達成のために次の三点を基本方針としている。

- ・目標と計画を持って、自主的に学習する態度を伸ばす。
- ・集団生活を通して、社会性を伸張し、品性ある人格形成に努める。
- ・健康・体力を自ら向上させる生活態度を育成する。

2 学校の特徴

本校は、120有余年の歴史がある普通科単独校である。平成23年度入学生より新たに「進路別講座制(進路に応じた多展開授業)」を導入し、特色ある教育活動を実施している。さらに、平成28年度より自己発信力やコミュニケーション能力の伸長を目的として、希望者による海外研修を開始し、グローバル人材の育成を図っている。

入学する生徒の大部分は新川地区の出身者であり、ほぼ全員が4年制大学への進学を希望している。その進学希望を叶えられるようにと、保護者はもとより、新川地区の拠点校として本校に対する地域社会からの期待も大きい。また、伝統的に「文武両道」の精神を支柱とし、教科学習・課外活動・学校行事の継続的かつ計画的な実施を図り、人格の陶冶と進路目標の実現を目指している。

3 学校の現状と課題

生徒のほぼ全員が大学への進学を希望しているため、その実現に向けて教職員は教科指導や進路指導の研究・改善に不断の努力を積み重ねている。特に生徒の日常生活と学習面や進路面が密接に結び付いていることから、丁寧な個別面接指導を計画的に実施している。

また、生徒の自主性を保障する生徒会活動・部活動等や進路目標設定のための「総合的な探究の時間」を通して、生徒自身が社会的に自立した行動をし、自己実現に向けて絶え間なく努力しているよう積極的な支援を行ってきた。

以上の点を踏まえ、「進路指導方針の理念の共有」と「魚津高校らしい指導の継承」を核とし、本校の現状とそれに対する本校教職員の問題意識の実態に即して、今年度の課題として次の6点を設定する。

- ① 規範意識の向上と自他の生命の尊重及び互いに高めあいながら協働していける生徒の育成
- ② 生徒会活動や部活動等を通して自主・自律・自発的な行動ができる生徒の育成
- ③ 高い進路目標を掲げ、それを維持し実現しようとする生徒の育成
- ④ 授業力向上につながる研修機会の充実及び教育課程の適正な編成
- ⑤ 学校環境衛生の整備と生徒の主体的な健康管理活動の促進
- ⑥ 読書の必要性・有効性の理解の促進と、図書館の利用の活性化

生徒の優れた資質をさらに伸ばすために、引き続き学校課題を「学習意欲の高揚と適切な進路指導」とし、教師一人ひとりが主体的・対話的で深い学びを実現できるよう指導方法を研究するとともに、面接指導や学年行事等との有機的連携を行う。また、「総合的な探究の時間」を核とした探究活動の実施についても全教職員で研修を深め内容を充実させる。さらに、今年度文部科学省が実施する「高等学校DX加速化推進事業」の採択を契機に、情報・数学・理科といった理系科目と探究活動を連携させた学びを充実させ、対話や協働を重視した教育活動の展開も図る。